



飛翔

令和2年度 西津小学校
学校だより 第27号
令和3年3月24日



令和2年度を修了するにあたって

校長 岡本 悟

中庭や体育館横の桜も咲き始め、日ごとに春の気配を感じるようになってきました。先週金曜日には6年生が卒業して校内が少し寂しくなった気がしますが、1~5年生の子どもたちは気持ちを切り替え、次年度を見据えた頼もしい表情に変わっています。

さて、今年度は教育活動に多くの制限がありました。それでも子どもたちはたくましく、そして確実に成長いたしました。1年生は5/7(木)に1か月遅れの入学式ができましたが、2か月の臨時休校期間中は不安な日々を過ごしたと思います。今では、実に自信に満ちあふれた表情となり、まもなく入学してくる新入生に手本を示してくれる2年生としての凛々しい姿が目に見えます。もちろん、2年生から5年生もそれぞれその学年にふさわしい成長ぶりでした。1年前と今の自分とを比べてみて「できるようになったこと」「がんばれたこと」をふり返し、自分自身の努力や成長を確かめて、次への意欲へとつなげてくれることを願っています。

この一年間、保護者の方々には様々な面でご無理をお願いしたにもかかわらず、ご理解とご協力を頂きましてありがとうございました。次年度も引き続き、本校の学校教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

結びに私事で恐縮ですが、この3月末をもって36年間の教員生活を終え、定年退職を迎えます。この西津小学校での最後の4年間はとても思い出の多い時間となりました。保護者の皆様や地域の皆様のご支援とご協力に支えられながらも、何とか1週間後には役目を終えることができそうです。西津小学校の子どもたちの健やかな成長と、保護者の皆様、地域の皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

児童の皆さんへ…

4年間お世話になり、ありがとうございました！

1, 春休みに入ります! 健康で安全な生活を

皆さんはこの一年間、様々な学習活動を通して心も体も大きく成長しました。特に、「感じ、考えて行動する」ことや物事がうまく行かないときに、その要因を他人や物事のせいにしてしたりすることなく自分にベクトルを向けたりすることにおいて、個々の中で進化を遂げました。自分自身の成長をふり返し、新学年に向けて心の準備をしましょう。そしてルールやマナーを守り、けがや事故のない健康で安全な春休みを過ごしましょう。



あおぞら掲示板では
一足早く桜が満開です

2, 門出の卒業式、「心」に残ることを願って

3/19(金)の卒業式では、卒業生一人一人に卒業証書を手渡すことができました。1~4年生の皆さんには参加してもらえなかったのですが、卒業生の皆さんは実に堂々とした姿を見せてくれました。5年生の皆さんも在校生代表として立派な態度で式に臨んでいました。前日準備や片付けにも活躍してくれました。6年生の心に残る門出の日になっていることを願うばかりです。



3, 友だちと力を合わせ、チャレンジし続けましょう

この1年間、みなさんには「自分も人も大切に、友だちの良いところをいっぱい見つけ、がんばっている姿を応援してあげてください。」という話をしてきました。今や、自分とは異なる他者を受け入れ、価値観の違いを認め合って、話し合いによってアイデアを出し合って生きていくことが大切な時代になっています。学校だよりでは何度も書いてきましたが、「自己肯定感がある人は自分も大切に、他者の価値観も尊重することができる。」とされています。失敗や間違いを恐れることなくチャレンジして成功体験を積み重ねていってください。間違いや失敗は大いにけっこうです。むしろ、それが自分を成長させてくれることにもなります。目標に向かって努力することに大きな意味があります。「一生懸命頑張った!」という満足感や達成感をたくさん味わってください。これからの長い人生、うまく行くときばかりではありません。むしろ嫌なことや苦しいこと、困難なことの方が多いかもかもしれません。粘り強く努力を積み重ね、自分の力でやり抜くことはもちろん大切ですが、どうしても前に進めないときは遠慮なく友だちの力を借りましょう。「手伝って」「助けて」と素直に言える人でいてください。友だちもあなたの助けを待っているかもしれません。困ったときはお互い様です。みんなで話し合って知恵を出し合い、協力して課題を解決したり、壁を乗り越えたりしてくれることを心から願っています。

「友達の喜び」

武者小路実篤

友達と話して、
話がはずんで来て、
二人の心が、
ぴったり、ぴったり、あって
自ずと涙ぐむ時、
人は何者かにふれるのだ。
何者かに。

